

## ブドウ褐斑病の感染時期について(予報)

野口保弘・竹石文雄・清水博之  
(福岡園芸試験場)

NOGUCHI, Y., TAKEISHI, F. and SHIMIZU, H.

Studies on the Infection Periods of Leaf Spot Disease on Grape (Preliminary note)

ブドウ褐斑病は夏秋季に多発するが、本病の主感染時期については未だ明らかでない。ここでは本病の防除上重要な主感染時期を明らかにするための試験をおこなったのでその概要を報告する。

## 1. 試験方法の概要

## (1) 鉢試験による感染時期調査

昭和45年：供試樹：キャンベル鉢植え幼木，1主枝1区4連制。試験区：開花前感染区，開花期感染区，落花後～被袋期感染区，被袋後～梅雨期感染区。試験方法：キャンベルの成木園にガラス室で隔離栽培した幼木を各試験時期に放置し，自然感染による発病を調査した。46年：供試樹，試験区は前年に同じ，8連制で調査，調査は病葉率，100葉当り病斑数についておこなった。

## (2) 時期別防除試験による感染時期調査

45年：供試樹：キャンベル成木，1主枝1区4連制，試験区：落花期～被袋期防除区，被袋期～梅雨前防除区，梅雨期防除区，梅雨明～収穫前防除区，全期間防除区，試験方法：上記試験区を設けマンゼブ剤1000倍を散布。調査7月22日，病葉率，100葉当り病斑数を比較した。(8月以後台風のため調査不能) 46年：供試樹：前年に同じ，3連制，試験区：開花前防除区，落花後～被袋期防除区，梅雨期防除区，全期間防除区，試験方法，調査方法は前年に同じ，調査時期7月26日，9月7日の2回。

## 2. 試験結果の概要

## (1) 鉢試験による感染時期調査の結果

45年の結果では，夏秋期では落花後～被袋期感染区が最も発病多く，次いで開花期感染区の順であった。梅雨期感染区は10月に発病が急増しているがこれは2次感染によるものとする。46年の結果では前年とやや異り，開花前感染区，開花期感染区が多発したが，この原因は明らかでない。

## (2) 時期別防除試験による感染時期調査の結果

第1表 感染時期別発病消長(S45)

感染時期	調査項目	調査時期(月/日)							
		5/16	7/18	7/30	8/19	8/29	9/14	10/3	
開花前感染	病葉率(%)	0.0	33.2	45.8	40.1	40.7	33.4	46.8	
	100葉当り病斑数	0.0	147.6	165.3	111.2	128.2	116.7	121.4	
開花期感染	病葉率(%)		24.1	48.3	59.1	68.1	65.0	63.2	
	100葉当り病斑数		34.5	72.4	222.7	354.5	330.0	321.1	
落花後～被袋期感染	病葉率(%)		34.0	54.7	75.0	81.8	79.2	90.9	
	100葉当り病斑数		52.0	119.0	195.3	282.8	464.8	762.5	
梅雨期感染	病葉率(%)		16.7	33.3	64.6	67.9	68.0	95.5	
	100葉当り病斑数		16.7	86.7	102.5	124.6	176.9	712.9	

第2表 感染時期別発病消長(S46)

感染時期	調査項目	調査時期(月/日)					
		6/19	7/2	7/15	7/31	8/20	
開花前感染	病葉率(%)	31.8	63.5	87.0	100.0	100.0	
	100葉当り病斑数	107.3	834.7	159.7	2477.0	2395.6	
開花期感染	病葉率(%)	14.9	32.1	87.7	98.3	95.3	
	100葉当り病斑数	27.7	122.9	807.7	1940.8	1488.7	
落花後～被袋期感染	病葉率(%)	10.7	10.7	12.7	51.6	53.3	
	100葉当り病斑数	56.8	28.9	22.3	125.3	153.8	
梅雨期感染	病葉率(%)		16.2	33.8	61.4	63.8	
	100葉当り病斑数		20.0	48.5	128.7	303.6	

注：夏秋季の病葉率，100葉当り病斑数の減少は発病葉の早期落葉によるものである。

第3表 時期別防除試験(S45)

試験区	調査葉数	病葉率(%)	100葉当り病斑数
落花～被袋期防除	46.0	4.9	7.1
被袋期～梅雨前防除	47.5	51.1	173.0
梅雨期防除	47.0	43.4	104.0
梅雨明～収穫前防除	47.5	30.5	60.4
全期間防除	54.8	5.6	10.8

第4表 時期別防除試験(S46)

試験区	調査時期	調査葉数	病葉率(%)	100葉当り病斑数
開花前防除	7月26日	94.3	12.5	17.7
	9月7日		41.4	740.1
落花～被袋期防除	7月26日	96.7	4.9	6.3
	9月7日		39.5	415.1
梅雨期防除	7月26日	96.3	29.5	77.3
	9月7日		35.7	494.0
全期間防除	7月26日	97.3	5.8	37.7
	9月7日		26.2	153.9

45年は8月以降の調査ができなかったが，防除効果の点からは落花期～被袋期防除区の発病が少なく効果的であったのに対し，梅雨期防除区は相対的に多発した。46年も同様の調査をおこなったが，7月の調査では前年の結果とほぼ同様の傾向を認めた。9月の調査では開花前防除区の発病が増加しているが，これは各試験区とも同一園内であるための2次感染によるものとする。

これらの結果から本病の主感染時期は，開花期頃から被袋期頃迄に1つの山があると考えられた。